

みんながつながる
 みんなが輝く
 I ♥ ASAO

あさお希望のシナリオプロジェクト

令和3年3月28日 麻生区役所



市民検討会議ワークショップにおける主な意見

地域レベルの取組について

地域における検討ポイント

- ・地域での交流のきっかけづくり、地域への関心を高める取組
- ・地域に気軽に集まれる居心地のよい居場所や、出会いの場の創出

参加しやすいゆるやかなコミュニティスペース（小さな単位での居場所）が必要

既存施設（こ文、公園、空き家、町内会館、マンションの交流スペースなど）の活用



地域の居場所「まちのひろば」の創出

地域レベル「まちのひろば」の創出

- ・参加のきっかけとなる地域の居場所
- ・誰もが気軽に集える出会いの場
- ・地域の課題解決の場 など

- ・公共施設の地域化（庁舎、学校、いきいの家、こ文など）
- ・民間地域資源やオープンスペースの活用
- ・SNS上のコミュニティ など



市民検討会議ワークショップにおける主な意見

区域レベルの取組について

区域における検討ポイント

- ・身近な地域での具体的な課題解決の取組を促進するしくみ
- ・人、団体、資源、活動等をつなぐコーディネーターやファシリテーターの役割

地域に有償のコーディネーターが必要

市民活動や企業団体をつなぐ
中間支援（組織）が必要



区域の「ソーシャルデザインセンター」の創出

区域レベル

「ソーシャルデザインセンター」の創出

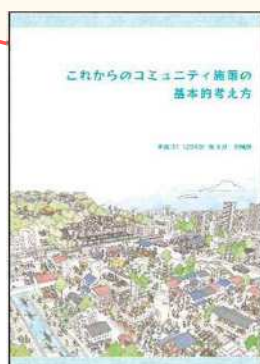
地域での新しい活動や価値を産み
社会変革を促す基盤（プラットフォーム）

- ・人や団体、企業、資源、活動をつなぐ コーディネート機能とプロデュース機能
- ・支援のニーズ（活動支援、資金助成、相談、情報収集）とメニューの 効果的なマッチング
- ・人材育成（地域の担い手や社会的起業家など）
- ・地域メディアやソーシャルメディアを活用した 情報の受発信
- ・新たな参加、交流の きっかけづくり
- ・ 各区の特性 に応じて必要とされる機能 など

「基本的考え方」を踏まえ、プロジェクト開始！！

2019年3月

これからのコミュニティ施策
の基本的考え方



2020年1月～

あさお希望のシナリオ
プロジェクト



2020年1月26日 キックオフミーティング



75人
参加

- ・「10年後の麻生区のまちがこうだったらいいな・こうしたいな」の意見交換
- ・あさお希望のシナリオプロジェクトの取組目標としてのキャッチフレーズの検討

みんながつながる
みんなが輝く
I ♥ ASAO

2月9日・16日 テーマ別第1回検討会

2 / 9

テーマ① 地域のプレーヤーになろう・育てよう

51人
参加

・「多世代交流」「交流機会の創出」について、「プレーヤーになろう・育てよう」という視点で意見交換

2 / 16

テーマ② 地域のことをもっと知ろう・つなごう

36人
参加

・「地域のことをもっと知ろう」という視点で、知りたいことや足りないことなどについて意見交換



新型コロナウイルス感染症
拡大防止のため
3～6月 活動休止

7月5日・12日 テーマ別第2回検討会

7 / 5

テーマ① 地域のプレーヤーになろう・育てよう

40人
参加

・4つの分野「食育」、「福祉」、「防災」、「美化」について、やりたいことなどについて意見交換

うち
オンライン9人

7 / 12

テーマ② 地域のことをもっと知ろう・つなごう

31人
参加

・「身近な交流の場（まちのひろば）」について情報交換

うち
オンライン8人

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で人を集めたイベントが困難
- 各テーマともやりたいことが入り混じっていること
- アンケートにおける意見

メンバーに向けてテーマ合体の提案

8~10月 第3~5回検討会（テーマ合同）

8/23

- テーマの合体についてメンバー合意
- 次回、改めて自己紹介を行うことを決定
- 今後、「まちのひろば」視察を行うことを提案

46人
参加うち
オンライン7人

9/13

- 自己紹介の実施
- グループ毎に視察する「まちのひろば」の検討

51人参加

うち
オンライン9人

10/11

- グループ毎に視察する「まちのひろば」の決定

52人参加

うち
オンライン4人

10・11月 まちのひろば視察~第6回検討会（視察報告）

10・11
月

5グループに分かれて 区内21か所を視察



11/15

まちのひろば視察の発表



麻生中学校生徒による
「麻生の地域学習」成果
発表も実施しました

49人
参加うち
オンライン8人

11・12月 リーダー・サブリーダー会議～第7回検討会

11/29

視察グループのリーダー・サブリーダーと今後の進め方について意見交換

12/6

○ 今後のスケジュールについて検討

1～3月

○ 市民活動への参加を促すイベント等の開催を検討

○ SDC準備会に向けての枠組み検討

- ・麻生区らしいSDC機能の洗い出し
- ・体制の検討
- ・プロジェクト活動内容の周知に関する検討 等

46人
参加うち
オンライン8人

○ 世代別グループ検討

テーマ「地域活動に参加する人を増やすためには？」

新型コロナウイルス感染
症拡大防止のため
1～3月 活動休止

本日の検討会について

情報
共有

次第3 他区ソーシャルデザインセンターの状況について

次第4 麻生市民交流館やまゆりの活動について

次第5 「やってみたいこと」（12月アンケート結果）について

検討

次第6 これからの進め方・SDCに必要な機能について

次第7 グループ検討

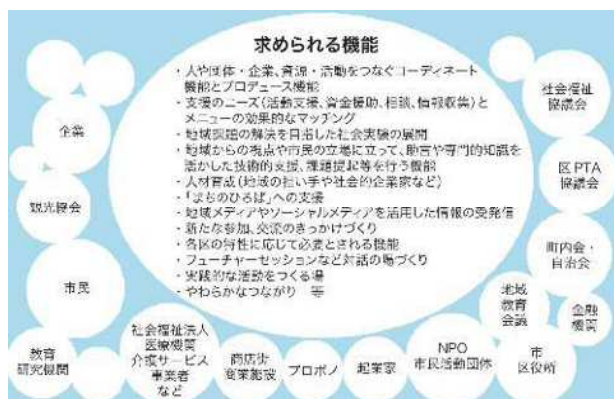
ソーシャルデザインセンター（SDC）とは

「まちのひろば」



- ・相談
- ・コーディネート
- ・マッチング
- ・場づくり支援
- ・助言
- ・人材育成支援
- ・資金調達支援
- ・課題解決支援
- ・後方支援 など

「ソーシャルデザインセンター」



麻生市民交流館やまゆりについて

成り立ち

H14年～

旧あさひ銀行グラウンド跡地の開発計画の中で、「仮称」新しい市民利用施設」の建設が計画

H16年～

「（仮称）新しい市民利用施設市民検討委員会」の設置

基本理念

- ・麻生区民が自由に集まり、交わり、麻生区のコミュニティの核となる場
- ・麻生区民がさまざまな活動を行い、そして活動を支援していく市民活動の拠点となる場

整備方針

- ・交流機能
- ・市民活動支援機能

⇒利用者による運営を目指す

H19年

やまゆりオープン！

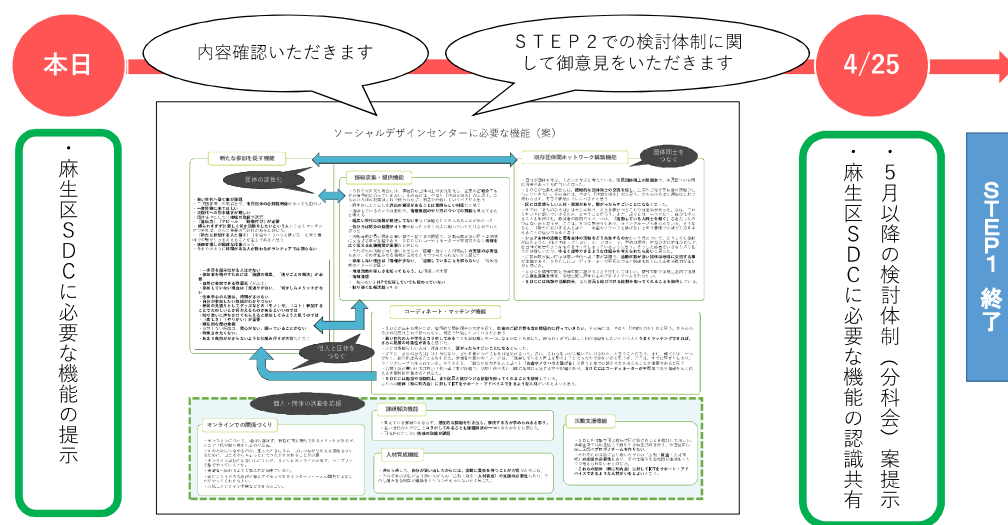
◎中間支援組織とは？

内閣府『中間支援組織の現状と課題に関する調査報告』（2002年）において、「多元社会における共生と協働という目標に向かって、地域社会とNPOの変化やニーズを把握し、人材、資金、情報などの資源提供者とNPOの仲立ちをしたり、また、広義の意味では各種サービスの需要と供給をコーディネートする組織」と定義されていますが、行政と地域の間によって様々な活動を支援する組織を指す場合もあります。

「やってみたいこと」（12月アンケート結果）について

- 提案1 コミュニティ通貨「まちのコイン」の活用（今井雄也さん）
- 提案2 交流の場となる福祉拠点をS D Cに設けること（田中元介さん）
- 提案3 団体活動スケジュールが集まった印刷物の発行（中村ふみよさん）
- 提案4 麻生の花紀行（宮河悦子さん）
- 提案5 麻生電力の創設（〃）

これからの進め方





本日のグループワークについて

議題 1

提示した機能以外に考えられる機能、足りない機能があるか確認ください

議題 2

令和3年度中にSDCモデル実施を行うことを見据えて、優先的に検討すべき機能をグループで話しあってください。

最大3つ、優先順位をつけていただき、理由も含めて発表ください。

ソーシャルデザインセンターに必要な機能（案）

